

せいしょのいじん
聖書の偉人
ダビデ王



なまえ いみ あい ひと
名前の意味：「愛された人」

知っていたかな？ イエス様の地上の父親ヨセフは、ダビデ王の直系の子孫だったんだよ。それによって、メシアについてのこの預言が成就したんだ。「一つの玉座がいつくしみによって堅く立てられ、ダビデの幕屋にあって、さばきをなし、公平を求め、正義を行うに、すみやかなる者が真実をもってその上に座する。」(口語訳聖書、イザヤ書 16:5)

驚くべき事実：ダビデは、統一されたイスラエルを治めた2番目の王だったが、若いころに王として塗油されてから、最初の王サウルが死んで、預言者サムエルから正式にユダの王として宣言されるまでには、何年も待たなければならなかったんだ。その間、ダビデには多くの困難があった。無二の親友の父親である王からは、絶え間なく命をねらわれていたりね。当時のダビデは、来るべき素晴らしいことのために神様がダビデを備えさせて下さっていたことなど、知る由もなかっただろうね。

彼のすごい所：ダビデが若いころに成し遂げた偉大な業績は、だれもが知っているよね。父親の羊を守るためにライオンやクマをやっつけたり、イスラエルを救うために3メートルもある巨人を倒したりした。だけど、この若い戦士は完璧ではなかった。大人になって王様になった時、非常に間違ったことをしてしまったんだ。ある人の妻を自分のものにするために、その人を死なせてしまったんだよ。神様は預言者ナタンをダビデの元へ送り、そのために彼を罰すると伝えさせたんだ。(サムエル記下の第11章～第12章15節で、このお話を読んでね。) ダビデは即座に悔い改め、神様もすぐにダビデをゆるして下さったけれど、ダビデは罪をつぐなうための罰は受けなければならなかった。その後ダビデは、神様のあわれみについての詩篇をたくさん書いたんだ。それは現在、多くの人のなぐさめになっているよ。

君にもできる：イエス様が払って下さった究極的な犠牲のおかげで、ゆるしと再生は、いつでも君のためにあるんだ。